



Washington Japanese Heritage Center

ワシントン日本語継承センター

P.O. Box 142 Cabin John, MD 20818-0142

keisho.org • info@keisho.org • facebook.com/keishocenter • (703) 868-3241

2017年6月1日

継承ファミリー各位

ワシントン日本語継承センター理事会では毎年、当センターの現状、運営、今後の計画についてご報告しております。2016-17年度は、合計8クラスに、97名の子供たちと10名の大人が在籍しました。教師陣は、カリキュラムコーディネーターとゼネラルマネージャーのもと、教師9名とティーチングアシスタント1名から構成されています。さらに、財務担当、ウェブマスター、入学事務アシスタントの3名のサポートスタッフを雇用しています。

継承センターは今年も、授業時間を「ターゲット」と「ホームルーム」に分けた構成で授業を行っています。7つのホームルームクラスでは、生徒の全般的な日本語スキルを高め、日本と日本文化の知識と経験を深めるよう、教師たちが指導しています。低学年クラスの生徒は授業時間を通して同じ教室で授業を受け、中・高学年クラスはターゲットクラスに振り分けられてそれぞれのスキルと目標に合わせた授業を受けています。今年も、どのクラスにも共通する関心対象と知識を育むため、「日本の地理」と「健康」の2つのテーマに関するプロジェクトに取り組みました。小学生の生徒たちは都道府県や市の名前と場所を学び、中・高校生は特定の地域を選んでその文化と歴史についてプレゼンテーションを作成しました。

継承センターでは今年も、在籍・卒業生徒の家族を対象とした大人向け日本語プログラムを提供しました。このクラスは、ご家族全体で日本語と日本文化の学習に関わっていただくことにより、継承言語教育という継承センターの役割を補完するものです。2016-17年度は10人の保護者が参加し、来年度はこのプログラムをさらに拡充する予定です。

運動会や、ホリデーコンサート & ポットラック、餅つき、さくらまつりでのコンサートと文化展示テントは、多くのご家族の方々においでいただきました。卒業生もこれらのイベントに参加してくれていることは、この上ない喜びです。来たる6月10日の終業式・学芸会・ポットラックランチョンには、皆さまのお越しをお待ちしています。これらのアクティビティや毎年恒例のイベントは、計画と準備に多大な労力がかかります。教師陣と保護者ボランティアの皆様の多大な時間と労力によって、これらが実現しています。毎回感謝をお伝えする努力はしておりますが、ここであらためて、スタッフとボランティアの皆さまに深く感謝申し上げます。継承センターがこのような素晴らしい場となっているのは、ひとえに皆さまのご尽力のたまものです。

今年、さくらまつりでのテント運営をサポートするために、生徒会と保護者が寄付金調達活動を行ったことを、特に誇らしく思います。継承センターのテントには何百人もの人々が訪れ、DCエリアの日本人・日系人コミュニティに広く継承センターの名前を知らしめるのに役立ちました。



Washington Japanese Heritage Center

ワシントン日本語継承センター

P.O. Box 142 Cabin John, MD 20818-0142

keisho.org • info@keisho.org • facebook.com/keishocenter • (703) 868-3241

継承センターの教師陣は、継承語としての日本語教育の指導開発を常に求め続けています。吉田由美子先生はジョージタウン大学で開かれた継承語日本語教育の 2 つのワークショップに参加し、白田茜先生は 2 つの全米規模の学会で発表を行いました。時々、外部から教育関係者が継承センターのプログラムを見学に来ていることに、お気づきの方もおありでしょう。今年度は、当継承センターの成功から学びたいという継承言語プログラム Rumah Indonesia (インドネシアの家) のインドネシア語クラスのグループの訪問を受けたほか、他校から数グループの来訪がありました。

下記に、今年度 2016-17 年の継承センターの運営予算実績をまとめます。収入のほぼすべて (95%) が授業料によるものです。寄付および助成金は時々ありますが、これらはコンピューター購入や授業料補助などの特定の目的に使用されています。継承センターに対する寄付の多くは、これらの目的に特定されています。

2004 年の設立時に 3 クラス・生徒数 35 人であった継承センターは、今や 8 クラス、生徒数 100 人超にまで成長しました。この間、経費は増加したものの、授業料については良心的な額を維持してきました。来年度の授業料基本額は今年と同じ \$1,370 となりますことを、ここにお知らせいたします。きょうだい割引と一括払い割引は、引き続き適用されます。

継承センターはコミュニティのニーズにお応えするために設立されました。当理事会では、入学が許可されたすべての家庭が、入学できるようにしたいと考えています。経済的な懸念が入学の障害となることは望んでいません。当センターができる範囲で、必要のあるご家庭には学費援助をご利用いただけるようにしています。原則として、連邦の貧困基準の 3 倍の収入額をガイドラインとしていますが、ケースバイケースで酌量しています。2012 年には、日本の大手日刊紙 1 面コラムに継承センターの記事が掲載されたことを受けて、ある篤志家から予想外の額の寄付をいただきました。この方のご希望により、この資金は、必要のある家庭をサポートし、その子供たちが日本語と日本文化を学ぶ機会が得られるよう、学費援助を強化するのに割り当てられました。2016-17 年度は、合計 \$1,571 の授業料補助を提供しました。学費援助に関する詳細は、継承センターの理事に遠慮なくお尋ねください。

2016 年 12 月、友人であり同僚である川元頼子さんの逝去に、継承コミュニティが悲しみに沈みました。頼子先生は継承センターで 10 年以上にわたり教鞭を執り、昨年、音楽ディレクターに就任したばかりでした。子供たちを励ますすばらしい教師であり、すぐれたアーティストでもありました。ご主人のノリさんと、2 人の息子さんたち、春彦さんと夏来くんに、心よりお悔やみを申し上げます。



Washington Japanese Heritage Center

ワシントン日本語継承センター

P.O. Box 142 Cabin John, MD 20818-0142

keisho.org • info@keisho.org • facebook.com/keishocenter • (703) 868-3241

継承センターの教師陣は、頼子先生の闘病中から音楽プログラムを支え続けてきましたが、幸運なことに、頼子先生の親しい友人で声楽家のマーレイえり子先生に、音楽ディレクターをお引き受けいただくことができました。えり子先生と教師陣の尽力により、頼子先生に捧げたさくらまつりでのパフォーマンスは素晴らしいものになりました。

継承センターはこれからも成長と変化を続けます。来年度は、より多くの生徒を受け入れたいと考えています。今年5月、継承センターは国際交流基金・ロサンゼルス日本文化センター（Japan Foundation of Los Angeles）から\$10,000の給与助成金を受けることになりました。これにより、新たな教師と教員アシスタントの採用が可能となります。同団体からの支援を誇りに思います。また、より多くの子供たちに日本文化と日本語を継承する機会を提供できることを嬉しく思います。また今年春から、ジョージワシントン大学の浜野祥子先生を、理事会メンバーにお迎えすることになりました。浜野教授は言語教育の豊富な経験を継承コミュニティにもたらしてくださるでしょう。共に力を合わせ、当センターのプログラムの一層の向上を期待しています。

継承センターの歴史は、コミュニティの言語的・文化的ニーズに応える非営利団体のサクセスストーリーのひとつです。継承センター理事一同、継承センターの実績と発展を誇りに思います。これからもコミュニティに貢献し、生徒とそのご家族の皆さんと協力し合い、向上を目指していくのを楽しみにしています。ご質問やご意見、ご提案などは、ぜひご遠慮なくお寄せください。

今後ともよろしく願いいたします。

継承センター理事一同

マイケル・エアマート	ケリー・リチャーズ
浜野 祥子	ジェフリー・シュウオーツ
越谷 直弘	ジョン・トベ
森 エジソン	椿谷 茂



Washington Japanese Heritage Center

ワシントン日本語継承センター

P.O. Box 142 Cabin John, MD 20818-0142

keisho.org • info@keisho.org • facebook.com/keishocenter • (703) 868-3241

継承センター運営予算

	2016-17年度 実績 + 予測 4月～8月
収入 (単位 : US \$)	予算
授業料	124,619
入学金	568
助成金	0
寄付	841
ファンドレージング	396
利息	29
試験受験料	225
教科書/イヤーズブック代金	1,480
その他の収入	111
小計	128,268
支出 (単位 : US \$)	
給与	77,268
賃借料	28,076
消耗品経費	8,871
保険	4,128
一般運営費/料金	1,603
技能開発	564
広告	166
試験受験料	1,015
教科書/イヤーズブック	1,615
その他の費用	4,099
授業料補助	1,572
小計	128,977
不足額	-708